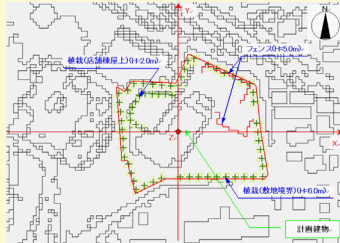


環境への配慮

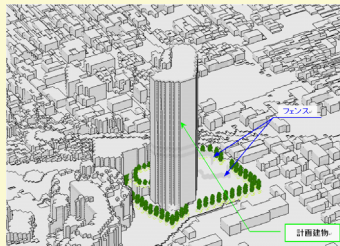
風環境

- ・計画建築物による風環境に対する影響をシミュレーションによって予測し、適切な防風対策を検討しました。
- ・村上方式という風環境評価指標では、住宅街はランク2以下、事務所街はランク3以下とすることとなっています。
- ・防風対策として、植栽やルーバーフェンスを計画（下図）していますが、一部影響が大きい箇所については、計画建築物による風環境への影響をより軽減するため、植栽を密にする、ルーバーフェンスを延長するなどの対策を今後検討します。

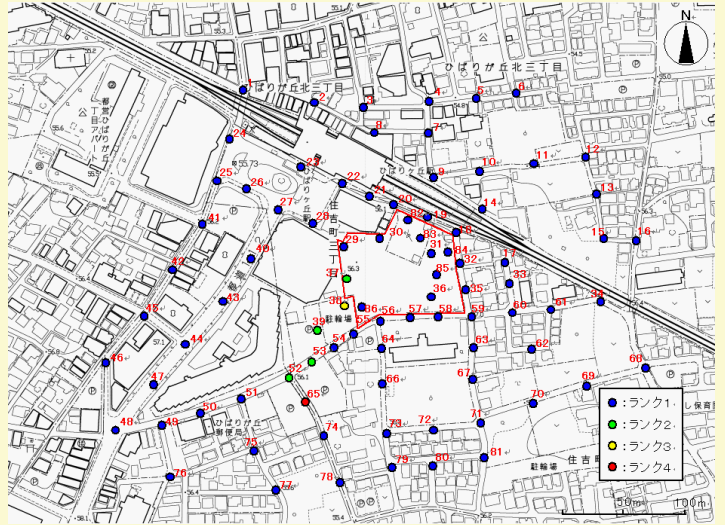
ランク	評価する強風のレベルと許容される超過頻度			空間用途の例
	日最大瞬間風速 (m/sec) (現象例)			
	10 (ゴミが舞い上がる)	15 (自転車等が倒れる)	20 (風に吹き飛ばされそうになる)	
1	10%以下 (年間約37日)	0.90%以下 (年間約3日)	0.08%以下 (年間約0.3日)	住宅街の商店街 野外レストラン
2	22%以下 (年間約80日)	3.60%以下 (年間約13日)	0.60%以下 (年間約2日)	住宅街 公園
3	35%以下 (年間約128日)	7%以下 (年間約26日)	1.50%以下 (年間約5日)	事務所街
4	ランク3の条件を満たさない領域			



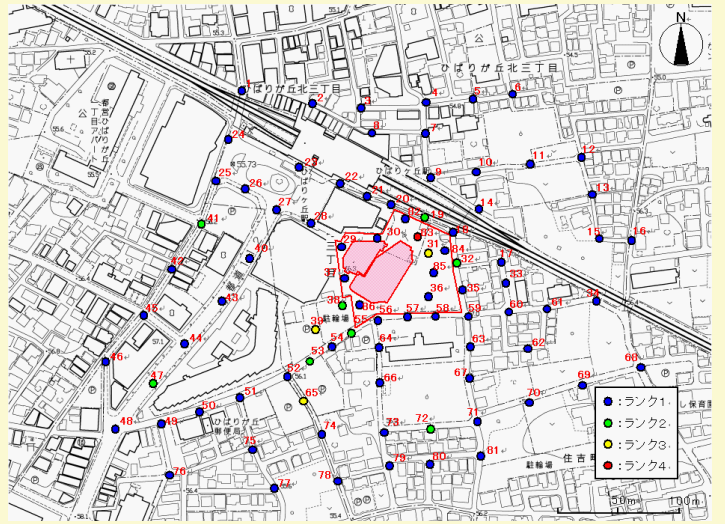
■防風対策概要 (平面図)



■防風対策概要 (パース)



■現況の評価



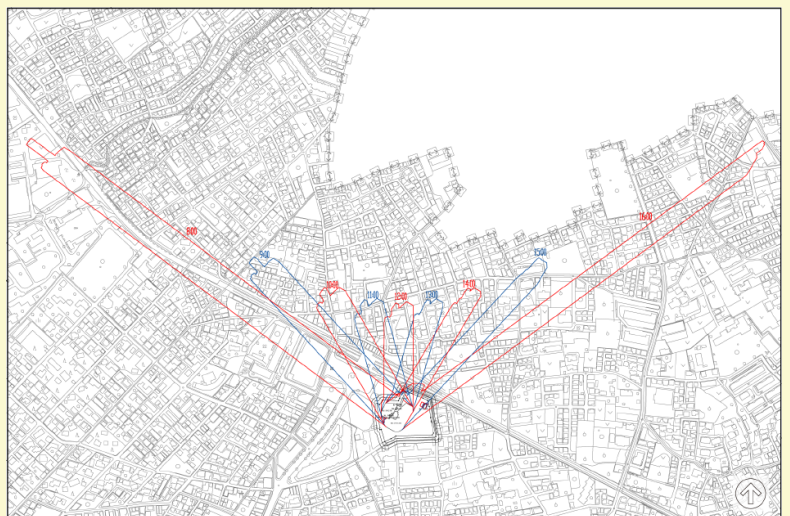
■建設後の評価

日照

計画建築物の日照は等時間日影図（左下図）に示すように、法規制の範囲内におさまっています。



■等時間日影図



■時刻別日影形状図